



「8月-2 白馬八方尾根&柵池自然園（八方尾根編）」

白馬連峰の唐松岳から四方八方に尾根が延びていることから八方尾根と名付けられ、北アルプスの峰々から八ヶ岳・富士山等が天候に恵まれれば望めます。高山植物の宝庫としても知られ長野県の天然記念物に指定され、標高 2000m 前後にある樹林地帯の地点に高山植物が分布し、周囲の視界がさえぎられずに素晴らしい展望が楽しめる所です。

2日目は8:15 ホテルを出発、ゴンドラ乗り場の「八方駅(標高 770m)」へ。ゴンドラ「アダム」と2本のリフトを乗り継ぎ「八方池山荘(1830m)」前に9:10 到着。

(八方尾根ルートガイド) ◀



(ホテル前で)



(ゴンドラリフト「アダム」)



(黒菱平 1)



(黒菱平 2)



(クワッドリフトで)

リフトからの景色と足元に咲く花々、顔にあたる風の心地よさに満足なひと時を堪能できました。八方池山荘～八方池(第3ケルン)までの「八方尾根自然研究路」(片道2.5Km/標高差約210m)へ身支度を整えてスタートです。

「登山道・木道」コースの分岐を「木道コース」で歩きました。整備された木道の脇には高山植物が、周りの山並みの風景と見どころ満載です。



(八方池を目指して)



(大勢の登山者が)



(小休止)



(木道を登ります)

登山道との合流手前に雪渓が残っていたので記念のスナップを。



(雪渓の手前で 1)



(雪渓の手前で 2)



(雪渓の手前で 3)

登山道をしばらく登ると第2ケルン(2005m、道に迷わないための道標)です。ここから八方ケルン(2035m)が望めます。多くの登山者が登り下りしているのも見えます。



(第2ケルンから八方ケルンを)



(第2ケルンで)

八方ケルン～第3ケルンまでは岩石の歩きにくい登りでしたが皆さんクリア、第3ケルンに到着(10:55)で八方池の全容を見られました。残念なことに白馬三山をはじめ周囲の山並みは雲に覆われ見ることができませんでした。



(八方ケルン)



(登山道から八方池を)



(対岸から望む)



(八方池で)



(八方池からの登り)



(昼食1)



(昼食2)

昼食休憩後木道コースを八方池山荘まで下り 12:45 到着。ソフトクリームに舌鼓。リフト2本とゴンドラを乗り継ぎ「八方駅」13:20 到着でした。



(眼下に白马村が)



(リフトから黒菱平湿原を)



(兔平で)

八方尾根でも多くの高山植物に出会いましたが一部の花々を掲載いたしました。



(タテヤマウツボグサ)



(ハクサンチドリ)



(イワシモツケ)



(ハッポウワレモコウ)



(ハクサンシャジン)



(マツムシソウ)



(ヤナギラン)

迎えのバスでホテルへ帰着。荷物を持って 13:50 バスは出発し、途中「白馬・道の駅」に立ち寄り熊谷へ。バスの車内は爆睡等で静かなうちに、18:10 無事到着。

今回のハイキングは天候的にも恵まれ、雄大な山岳風景と高山植物の花々に癒された2日間でした。期待の「白馬三山」は雲に覆われ姿を見せず残念でしたが。

今回、県民割りを利用しての企画で得をした気分でした。皆さま大変お疲れさまです。

37 期ハイキングクラブ部長